

アメリカ軍作製の沖縄地形図 —解説と L893 図 (1:4, 800) の目録—

解説：小林 茂 (大阪大学名誉教授・大阪観光大学)
目録：小林 基 (大阪大学文学部学生)

近代の琉球列島の景観変化を検討するに際し、地形図をはじめとする各種の地図の分析が必要なことは改めていうまでもない。また空中写真が利用されるようになって以後については、その検討も要請される。この場合、とくに留意されるのは、第二次世界大戦中に地上戦がおこなわれた沖縄では、戦中・戦後期にアメリカ軍が作製・撮影した地図・空中写真の役割が大きく、その検討がまず必要という点であろう。戦中期の航空偵察にもとづく空中写真や地図にくわえて、戦後にも軍政や基地造成に関連した空中写真の撮影や地図作製がおこなわれている。とくに地図の作製や配布を担当したアメリカ陸軍地図局 (Army Map Service: AMS) の作業の全体像については、なお不明な点が多く、多面的な検討が要請されている (鍛塚 2007)。

もちろん、琉球列島の地形図に関連しては、これまでたびたびそれを検討する論考が公表されてきた (籠瀬 1972、島袋 1988、清水 2000)。これらではアメリカ軍作製の地図に関する言及はあるが、なお概観に留まっており、近年島袋 (2006) のおこなったような作業を、さらに深化させる必要がある。とくに陸地測量部の作製した戦前期の地図について、時期を追いながら目録と一覧図を示した清水 (1999) のような仕事がまず必要ということになる。

なお、琉球列島については、地形図は早くから秘図に指定され、戦前期には研究においてもほとんど使うことはできなかった (小林 1999)。この状態は戦中・戦後のアメリカ軍製の地図についてもあまり変わらなかったようであり (島袋 1999)、それを反映してこの種の地図の古書としての入手も容易でない。その点では、すでに沖縄県公文書館や琉球大学法文学部地理学教室がおこなっているようなアメリカ軍作製の地図画像のインターネットによる公開もさらに推進すべきであろう。

以下では、琉球列島に関するアメリカ軍作製図を概観するところから始め、それぞれの図群の特色を検討し、今後の課題を考えたい。

1. 琉球列島に関する AMS 作製図

表 1 は 2013 年 3 月にワシントン郊外のメリーランド州カレッジパークにあるアメリカ公文書館 II (NARA II) の 3 階の Cartographic and Architectural Room 備え付けの目録、Record Group 77、"AMS by Country" にみられる "JAPAN-RYUKYUS" の部分を写真撮影し、記載内容を整理して表にまとめたものである。これは琉球列島に関する地図群の一覧表に過ぎないが、この地域について作製された地図にはどのようなものがあるか、概観することができる。

まず戦中期のものからみると、3. L096 Ryukyu Retto Photomaps (1: 10,000) がある。この図群は、沖縄戦についてアメリカ側の記録を掲載する『沖縄県史、資料編 12』(2001) の 77~78 頁にみえる、関係部隊に対する配布地図のリストの (1)(b) に記載されているものに対応すると考えられる。この説明 (ただし和訳文) にはつぎのように書かれている。

(b) 縮尺 1 万分の 1 の写真地図。これは縮尺 1 万分の 1 地図と関連して配布される。撮影範囲は縮尺 1 万分の 1 地図よりわずかに広いだけである。攻撃目標指定方眼が記載される。

読谷村役場総務部企画課編 (1995) の末尾に複製が添付されている図 (図のナンバーは 3626-IIIp) はこの図群に属すると考えられる。表にカラー印刷の地形図、裏にモノクロの空中写真のモザイク図を印刷している。図の右下には、後述の図群番号 L891 (2 万 5 千分の 1 図) を編集して 1945 年 1 月に作製したと記されており、アメリカ軍海兵隊の沖縄戦史第 2 章「ICEBERG 作戦の準備」の情報の節にも、基本計画図としていた 2 万 5 千分の 1 図から作製されたものとする (Nichols and Shaw 1955: 20)。したがってこの図は 2 万 5 千分の 1 図を拡大したものであり、図が粗い印象を与えるのはそのためと考えられる。

つづく 5. L691 Ryukyu Retto (PAO-1945) (1: 100,000) に対応すると思われるのが、『沖縄県史、資料編 12』(2001) の上記リストの (1)(d) で、つぎのような説明がある。

表 1 : アメリカ軍が作製した琉球列島関係図

番号	ID 記号	名 称	縮尺	時期	備 考
1	L893	Okinawa Special (322 sheets)	1:1,200	1949-51	
2	L893	Okinawa Special (322 sheets)	1:10,000	1949-51	琉大地理学教室の試験的公開画像
3	L096	Ryukyu Retto Photomaps	1:10,000	1944-45	読谷村役場総務部企画課編 (1995 末尾)、『沖縄県史、資料編 12』(2001) の口絵 I および 77-78 頁の(1)(b)
4	L691	Okinawa Road Map/Okinawa	1:100,000	1957-60	
5	L691	Ryukyu Retto (PAO-1945)	1:100,000	1945	『沖縄県史、資料編 12』(2001: 77-78) の(1)(d)
6	L891	Ryukyu Retto	1:25,000	1944-62	島袋 (2006: 71) に索引図
7	L897	Ryukyu Retto	1:25,000	1971-72	
8	L091	Ryukyu Retto Photomaps	1:25,000	1944	『沖縄県史、資料編 12』(2001: 77-78) の(1)(c)
9	L891	(L091 Photomaps on back)	1:25,000	1944-45	『沖縄県史、資料編 12』(2001: 77-78) の(1)(c)
10	L893	Okinawa Special (322 sheets)	1:4,800	1949-51	島袋 (2006:73) に索引図、琉大地理学教室の試験的公開画像、本稿で紹介
11	L091-S	Okinawa Photomaps	1:5,000	1948-56	
12	L776	Japan, including Okinawa	1:50,000	1974-82	AMS ではなく DMA 作製
13	L791	Ryukyu Retto	1:50,000	1944-54	『沖縄県史、資料編 12』(2001) 口絵 A-H、『空から見た昔の沖縄』(2002)
14	L093	Okinawa Photomaps	1:50,000	1955	
15	L93-S	Okinawa Photomaps W/Soil	1:50,000	1947-48	

資料:アメリカ公文書館 II (NARA II) 3 階の Cartographic and Architectural Room 備え付けの目録、Record Group 77、“AMS by Country” による。DMA は AMS の後身の Defense Mapping Agency をさす。

(d)用紙 2 枚にわたる縮尺 10 万分の 1 の道路・計画地図。地勢及び地形の特徴が明記される。方眼はなし。

さらに 8. L091 Ryukyu Retto Photomaps (1: 25,000) および 9. L891 (L091 Photomaps on back) (1: 25,000) は、やはり『沖縄県史、資料編 12』(2001) の上記リストの(1)(c)になると考えられる。その説明はつぎのようになる。

(c)縮尺 2 万 5 千分の 1 の戦術用地図。幾分かの地勢と地形の特徴と水路について、敵軍施設、海岸及び海岸の色分けが明記される。200 ヤード四方及び 1,000 ヤード四方の番号が付された攻撃目標指定方眼がオーバープリントされる。戦術用地図の裏面には同地域の縮尺 2 万 5 千分の 1 写真地

図が掲載される。

すでに触れたように、3. L096 Ryukyu Retto Photomaps (1: 10,000) の元図になった図である。沖縄県公文書館がインターネットを通じて画像を公開している「アイスパーク作戦(沖縄戦)戦術用地図」は書誌データが少なく、縮尺も示されていないが、地図と空中写真を組み合わせたものである点にくわえ、一枚の図(写真)のカバー範囲から、この 8. L091 Ryukyu Retto Photomaps (1: 25,000) および 9. L891 (L091 Photomaps on back) (1: 25,000) と判断される。現在画像が公開されている範囲は沖縄本島の海岸部が多く、今後の充実が期待される。

つぎに表 1 で戦中期から戦後期の年代が示されているものをみると、まず 6. L891 Ryukyu Retto

(1: 25,000) は、その名称と縮尺から島袋 (2006:71) に索引図が掲載されている”RYŪKYŪ RETTŌ 1: 25,000”に相当する可能性が高いと考えられる。その年代が 1944 年から始まっているのは、9. L891 (L091 Photomaps on back) (1: 25,000) の系譜をうけつぐ地図と位置づけられているからであろう。島袋 (2006:71) の索引図に記されている注記では、1949 年 1 月の空中写真によるとしているが、水平的・垂直的な基準点は、日本の陸地測量部が確定した 1927 年のデータによるとしている。この地域の陸地測量部の三角測量は 1914(大正 3)~1921 (大正 10) 年に(測量・地図百年史編集委員会 1970: 82-83)、地形測量は 1919 (大正 8) と 1921 (大正 10) 年におこなわれており(清水 1999)、それらの成果にもとづくデータを地理調査所(陸地測量部は 1945 年 8 月末日に陸軍を離れ、9 月 1 に地理調査所と改称し内務省所管となった)より入手したと考えられる。

つづく 13. L791 Ryukyu Retto (1: 50,000) は、『沖縄県史、資料編 12』(2001) の口絵 A-H ならびに『空から見た昔の沖縄』(2002) の各所に部分が掲載されているものにあたりと考えられる。この図群の図が 1945 年以降にも作製されたことになっているのは、他の地域の図の作製が遅れたからと考えられる。国立国会図書館の AMS 作製図の目録のうち”L791”の図(5 万分の 1)を見ると、奄美諸島などについては 1950 年代になってから作られていることがわかる。

ところで、『沖縄県史、資料編 12』(2001) の口絵の解説では、この図群の多くは 1944 年 9 月撮影の空中写真と米海軍の水路図によるものとされている。アメリカ軍海兵隊の沖縄戦史第 2 章「ICEBERG 作戦の準備」の情報の節にふれられている、1944 年 9 月 29 日の B29 による空撮が(Nicholas and Shaw 1955: 20) この 9 月の撮影にあたりと考えられる。沖縄本島とその周辺の離島を空撮したが、とくに本島北部は雲に覆われたところが多く、もとの図に空白部分が多くなったとする記述は、『沖縄県史、資料編 12』(2001) の口絵 A-H にみられる空白部分の分布と一致する。

以上からすると、戦中期に作られた地図群については、多くが沖縄県などの関係者によってすでに把握されていることが明らかである。ただし、作製範囲などについては、わかっている場合が少なく、今後の検討が必要である。

なお関連して、沖縄戦前後の空中写真について

は、すでに所在確認が開始されていることを付記しておきたい。当山 (2001) がそのリストを示しており、1944 年 9 月 29 日撮影のものも、国土地理院や沖縄県庁に収蔵されていることがわかる。ただし両者の収蔵する空中写真には、欠けている部分が多いとされており、アメリカ公文書館 II に収蔵されていると考えられるネガロールの調査が改めて必要となろう。

さらに作製年代が戦後とされているもののうち、琉球大学法文学部地理学教室が一覧図ならびに所蔵図の画像をインターネットで公開しているものについてみておきたい。まず、2. L893 Okinawa Special (322 sheets) (1:10,000) は、琉球大学の一覧図の説明に示す年代が表 1 に示した年代と違うが、同じ図群番号(L893)と縮尺から、同一図群と考えられる。さらに 10. L893 Okinawa Special (322 sheets) (1: 4,800) も、やはり年代に少し差があるが、琉球大学のサイトが示すもうひとつの一覧図(AMS MAP “OKINAWA 1/4,800”)から検索できるものと同一図群と考えられる。

なお、以上の 2 図群に表 1 の 1. L893 Okinawa Special (322 sheets) (1: 1,200) をくわえると、縮尺の違う 3 図群がおなじ図群番号(L893)をもつことになる。これらは相互に関連するものとして作製され、3 者をあわせて全 322 図幅になることが推測される。島袋 (2006:73) に索引図に見られる図幅の総数と琉球大学の公開している一覧図(AMS MAP “OKINAWA 1/4,800”)は総図幅数が 218 と一致しており、322 から 218 を差し引いた 104 図幅が、同じ図群番号を持つ 1 万分の 1 図と 1,200 分の 1 図の図幅の合計になる可能性があるかと当面は考えておきたい。

以上、アメリカ公文書館(NARA II)の 3 階の Cartographic and Architectural Room 備え付けの目録を手がかりに、戦中・戦後期の琉球列島に関連する AMS 作製図を概観した。これをふまえ、さらに 10. L893 Okinawa Special (322 sheets)(1: 4,800) について検討を加えておきたい。

2. 4,800 分の 1 沖縄本島中南部地形図について

表 1 に示した地図群のうち、10. L893 Okinawa Special (322 sheets) (1: 4,800) を、古書として 42 図幅購入した。この書誌データを表 2 に示している。すでに触れているように、琉球大学法文学部地理学教室ではこの画像をインターネットを通じて公開している。この公開画像には、一部欠落

がみとめられ（全 218 面のうち 14 面）、その部分が購入図に含まれているのではないかと期待されたが、残念ながらそれにあたるものは見られなかった。ただし、この 4,800 分の 1 図を収蔵する機関は、国内では琉球大学以外にはないようなので、希少な地図として現物を確保することは意義あることと考えている。今回の購入図のカバーする地域については、島袋（2006）の示す索引図に表 2 の図番号を位置づけてご覧いただきたい。

なお、この図群はアメリカ合衆国では上記国立公文書館Ⅱのほかアメリカ議会図書館も収蔵する。今後両館を訪問する機会を待って、とくに琉球大学法文学部地理学教室のコレクションに欠落する図幅の探索に努めたい。

つぎに本図群の作製に関する点に注目しておきたい。本図群の各図に下に印刷された注記にから、作製に用いた空中写真は 1947 年の 10 月、11 月ならびに 1948 年 1 月の撮影ということがわかる。当時は沖縄本島の基地群の造成工事が盛んにおこなわれており（島川 2013）、そのための地図作製につながる空撮であったと推定される。すでに沖縄戦の最中から日本本土攻撃に向けた基地造成が沖縄本島中部では開始され（Dod 1966: 657-660）、その拡充にむけて沖縄戦の準備のために撮影・作製された戦闘用の空中写真や地図とは別に、あらたに建設用の空中写真や地図が必要となり、このような大縮尺図が作製されたとみられる。本図群の各図の作成（編集）年が、とくに航空基地の集中する沖縄本島中部について 1948 年と早いのは、そうした事情を反映するものであろう。

なお、空中写真の図化に必要な基準点は、すでにみた 6. L891 Ryukyu Retto (1: 25,000) と同様、陸地測量部が 1927 年に確定したデータによるとしている。日本側のデータで十分な精度が確保できる場合は、技術だけでなく、時間や人手もかかる三角測量を避けるのは当然と考えられたことがうかがえる。

なお、これらの地図の製図・印刷は、6. L891 Ryukyu Retto (1: 25,000) の場合と同様に、それを担当した第 64 工兵地形大隊 (The 64th Engineer Topographic Battalion) の根拠地であった東京新宿の伊勢丹ビルでおこなわれたと考えられる。戦中期の地図も作製した、東京進駐前の同大隊の根拠地はどこであったのかも含め、さらに検討が必要である。

近年、日本本土についても AMS による地形図に対する関心が高まっている。各種の地形図のほか、作製を担当した第 64 工兵地形大隊の活動の紹介もおこなわれるようになった（小川 2008、長谷川 2009a, b、赤木 2010）。AMS による地図は、本土についても戦中・戦後期の景観変化を考えるに際し少なからぬ意義を持つと考えられ、今後それらを利用した本格的研究に至るには、さらにその全容の把握に向けて努力が必要と考えられる。とくに地図が作られた地域や時期、特色について十分な資料を整備し、多様な分野の研究者の要請に応えられるような体制を構築することが要請されている。

文献

- 赤木祥彦 2010. 「米軍がつくった戦争時の日本地図」
地理 55(1): 9-51.
- 小川那瑠 2008. Japan city plans “Nihonbashi”. 国立国会図書館月報 573: 2-3.
- 籠瀬良明 1972. 「沖縄の地形図」地図（日本国際地図学会）10(2): 10-17.
- 鍬塚賢太郎 2007. 「アジア地域における旧米国陸軍地図局作成地図 (AMS マップ) の特徴と利用可能性」
地理科学 62(3): 216.
- 小林茂 1999. 「地形図と南西諸島の近代」『「大正昭和琉球列島地形図集成」解題』柏書房、27-33.
- 財団法人沖縄県文化振興会公文書管理部資料編集室 2001. 『沖縄県史ビジュアル版 10、空から見た昔の沖縄、沖縄島中部・南部域の空中写真』沖縄県教育委員会.
- 財団法人沖縄県文化振興会公文書管理部資料編集室 2002. 『沖縄県史、資料編 12、アイスバーグ作戦、沖縄戦 5（和訳編）』沖縄県教育委員会.
- 島川雅史 2013. 「沖縄戦と土地収用」前田哲男・林博史・我部政明編『〈沖縄〉基地問題を知る事典』吉川弘文館、2-5.
- 島袋伸三 1988. 「沖縄の地形図」南島の地名 第 3 集: 78-87.
- 島袋伸三 2006. 「沖縄県下の米軍製地図について」外邦図研究ニューズレター4: 969-73.
URL: http://www.let.osaka-u.ac.jp/geography/gaihouzu/newsletter4/pdf/n4_s3_2.pdf
- 清水靖夫 1999. 「沖縄県の地形図について」『「大正昭和琉球列島地形図集成」解題』柏書房、3-22.
- 清水靖夫 2000. 「沖縄県の地形図類」地図ニュース（日本地図センター）334: 7-10.

- 測量・地図百年史編集委員会編 1970.『測量・地図百年史』日本測量協会.
- 当山昌直 2001.「沖縄の古い空中写真に関する調査作業ノート」資料編集室紀要（沖縄県教育委員会）26: 241-244.
- 長谷川敏雄 2009a.「戦後の伊勢丹で米軍が地図を作っていた！（1）伊勢丹の接収」地図中心（日本地図センター）437: 30-31.
- 長谷川敏雄 2009b.「戦後の伊勢丹で米軍が地図を作っていた！（2）伊勢丹時代の地図部隊」地図中心（日本地図センター）438: 32-34.
- 読谷村役場総務部企画課編 1995.『平和の炎 vol.8.〔沖縄戦直前米軍資料全翻訳〕』読谷村.
- Dod, K.C. 1966. *The Corps of Engineers: The War against Japan*. Office of the Chief of Military History, United States Army.
- Nicholas, S., Jr. and Shaw, H.I., Jr. 1955. *Okinawa: Victory in the Pacific*. U.S. Marine Corps Historical Monograph.
URL: <http://www.ibiblio.org/hyperwar/USMC/USMC-M-Okinawa/>

表2：4,800分の1沖繩本島中南部地形図目録（大阪大学蔵）

米軍作成の沖繩地形図 図番号	図幅名	縮尺	作成者	作成年	空中写真	Field Control	東経						北緯						備考
							度	分	秒～	度	分	秒	度	分	秒	度	分	秒	
1	BOLO POINT WEST	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	42	0	127	43	0	26	26	00	26	27	00	
2	BOLO POINT EAST	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	43	00	127	44	00	26	26	00	26	27	00	
24	KURUTAKE	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	47	0	127	48	00	26	24	00	26	25	00	
29	KINWAN	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	52	00	127	53	00	26	23	00	26	24	00	
30	TENGAN	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	51	00	127	52	00	26	23	00	26	24	00	
31	KONBU	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	50	00	127	51	00	26	23	00	26	24	00	
32	TENGANGAWA	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	49	00	127	50	00	26	23	00	26	24	00	
45	YUNABARUGAWA	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	49	00	127	50	00	26	23	00	26	24	00	
47	KAWASAKI	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	50	00	127	51	00	26	22	00	26	23	00	
48	AGENA	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	51	00	127	52	00	26	22	00	26	23	00	
53	AKAMICHI	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	49	00	127	50	00	26	21	00	26	22	00	同一の図幅が2枚ある
64	KOZA	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	48	00	127	49	00	26	20	00	26	21	00	
65	MIYAZATO	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	49	00	127	50	00	26	20	00	26	21	00	
68	HAEBARU	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	52	00	127	53	00	26	20	00	26	21	00	
93	YABUCHI-SHIMA SOUTH	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	55	00	127	56	00	26	18	00	26	19	00	

米軍作成の沖縄地形図		東経										北緯					備考	
図番号	図幅名	縮尺	作成者	作成年	空中写真	Field Control	度	分	秒～	度	分	秒	度	分	秒			
101	FUTEMA	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1948	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	46	00	127	47	00	26	17	00	26	18	00
114	OKUMA	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1948	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	46	00	127	47	00	26	17	00	26	18	00
118	MACHINATO	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1948	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	43	00	127	44	00	26	15	00	26	16	00
120	KAKUBUGAWA	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1948	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	41	00	127	42	00	26	15	00	26	16	00
147	UMINO	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	48	00	127	49	00	26	11	00	26	12	00
149	TOSOE	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	46	00	127	47	00	26	11	00	26	12	00
154	MADANBASHI	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1949	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	41	00	127	42	00	26	11	00	26	12	00
174	SASHIKI	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	47	00	127	48	00	26	09	00	26	10	00
179	KOGUSHIKU	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	42	00	127	43	00	26	09	00	26	10	00
180	TAKETOMI	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	41	00	127	42	00	26	09	00	26	10	00
181	WONAGA	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	40	00	127	41	00	26	09	00	26	10	00
183	IHO-JIMA	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	39	00	127	40	00	26	08	00	26	09	00
185	ZAHA	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	41	00	127	42	00	26	08	00	26	09	00
197	GUSHICHAN	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	44	00	127	45	00	26	07	00	26	08	00
199	YOZADAKE	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	42	00	127	43	00	26	07	00	26	08	00

米軍作成の沖縄地形図		東経										北緯										備考
図番号	図幅名	縮尺	作成者	作成年	空中写真	Field Control	度	分	秒～	度	分	秒	度	分	秒	度	分	秒	度	分	秒	
200	OZATO	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	41	00	127	42	00	26	07	00	26	08	00				
201	ITOMAN	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	40	00	127	41	00	26	07	00	26	08	00				
203	NAGUSHIKU	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	39	00	127	40	00	26	06	00	26	07	00				
205	MAKABE	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	41	00	127	42	00	26	06	00	26	07	00				
207	NAKAZA	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	43	00	127	44	00	26	06	00	26	07	00				
208	HANAGUSUKU	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	44	00	127	45	00	26	06	00	26	07	00				
211	MABUNI	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	44	00	127	45	00	26	06	00	26	07	00				
213	KOMESU	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	41	00	127	42	00	26	05	00	26	06	00				
214	TSUKAZATO	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	40	00	127	41	00	26	05	00	26	06	00				
215	KIYAN	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	39	00	127	40	00	26	05	00	26	06	00				
216	KIYAN-MISAKI	1: 4,800	the 64th Engineer Base Topographic Battalion (第64工兵地形大隊)	1951	1947年10月、11月、 1948年1月撮影の空中写真	71th Engineer Survey Liaison Detachment	127	39	00	127	40	00	26	04	00	26	05	00				